

各 位

上場会社名	株式会社 新潟放送
代表者	代表取締役社長 竹石 松次
(コード番号)	9408)
問合せ先責任者	取締役経営管理局长 嘉瀬 清
(TEL)	025-267-4111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,410	△90	△60	△20	△3.33
今回発表予想(B)	9,407	△98	△77	△31	△5.30
増減額(B-A)	△3	△8	△17	△11	
増減率(%)	△0.0	△8.9	△28.3	△55.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	9,101	△195	△164	△156	△26.16

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,555	22	64	27	4.54
今回発表予想(B)	3,594	100	139	74	—
増減額(B-A)	39	78	75	47	
増減率(%)	1.1	354.5	117.2	174.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	3,465	10	60	△3	△0.58

修正の理由

《平成23年3月期第2四半期累計期間》

当社グループの中核である放送事業におきましては、長引く景気低迷から当初、収入、利益を厳しく見込んでおりましたが、期後半から東京地区を中心にテレビスポットが一部で回復したことに加え、第1四半期におけるスポーツ等の大型イベントによる「その他の収入」が好調に推移したことから、前回の予想値に対して個別業績の利益については、大幅に改善する見通しとなりました。

一方、連結業績につきましては、グループ内の売上げ比率の大きい情報処理サービス事業において、県外のソフトウェア受託開発の案件が減少したことから、情報機器等の販売を積極的に推し進めた結果、原価に占める機器仕入れの比率が高まったことなどが影響し、減益となりました。このため連結業績につきましては、利益面において前回予想値を下回る見通しとなりました。

なお、経営成績等の詳細につきましては、本日(平成22年11月11日付)発表いたしました「平成23年3月期第2四半期決算短信」をご参照ください。

《平成23年3月期通期》

当期後半の景況につきましては、一部にやや持ち直しの兆しは見られるものの、雇用情勢は依然として厳しく、デフレ傾向が継続し、円高や株安など懸念材料も重なるなど、放送事業に大きな影響を及ぼす広告市況の不透明感は拭えない状況が続くものと思われま。

通期の業績につきましては、当社単独において上半期には予想を上回る業績をあげることができましたが、下半期に入りテレビスポットに一部回復の兆しは見られるものの、期後半に向けて減速も予想されることや、タイム収入の減収傾向などを考慮すると、本年5月に公表いたしました数値の範囲内に収まるものと思われま。

また、連結業績につきましても、情報処理サービス事業の業績が下期に入り順調に推移すると見込まれることなどから、5月に公表した予想値の範囲内で収まるものと判断いたしました。

(注)前記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断し作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。